

青空リンゴ作業体験教室

～美味しいりんごが出来たよ～



1年間の栽培を通して

10月29日、相馬小学校3年生の児童24名によるりんご収穫体験が五所地区の佐久間康幸さんの園地にて行われた。

始めに、農業振興課米澤主任から「つるもとを曲げるようにして収穫して下さい。」と、収穫の仕方が説明され、その際の注意点も説明された。児童らは前回貼ったシールを剥ぐことから始め、剥いだシールの下には、綺麗に自分の絵が映し出されていたことに感動していた。同時に収穫も行い、児童らは綺麗にもぎ取ることが出来ると、「きれいに取れたー。」「でかくて美味しそう。」「というような喜びの声が沢山聞こえてきた。

収穫終了後、シヨナゴールドとシナノゴールドの試食を行い、女性部が切ったりんごを児童らはおかわりを繰り返して食べていた。赤いリンゴと黄色いリンゴのどちらが美味しいか尋ねると、赤いリンゴの方が美味しいと言った意見が大半を占めた。児童らの中には、

「シヨナゴールドも酸っぱいが、シナノゴールドの方が酸っぱい。」と品種の特性を理解していた。

児童らはこの青空りんご学習を作文に書き起こしている途中であり、「りんご農家になりたい」と書いた児童が何人もいるようで、それを聞いた園主の佐久間さんは、嬉しそうに表情を浮かべていた。

児童らは5月の授粉体験、6月の摘果作業、7月の袋掛け作業、9月の袋剥ぎ、シール貼り作業を経て、次第に自分の育てたりんごであることに責任を感じ、愛情をもって果実に触れ、栽培に対する真剣さが増していった。

今回の収穫作業でも丁寧に扱うよう注意を促されたが、その手つきは農家そのものであった。

これから児童らは、学校にてこの学習について新聞作りをする予定である。小さい頃から口にしてるりんごがどのように作られる、どのようにして自分たちの口に運ばれていくのかを、体験した事と調べたことを基に作っていく。



とても綺麗に絵文字がついてたよ



真っ赤で大きなりんごが沢山収穫できました



りんごの美味しさにこぼれる笑顔

